

◆ 今週のコメント

- ・ **デング熱**の報告が1例(男性, 30歳代)あります。本年初めての報告となっています。推定感染地域は国外(インドネシア)で、推定感染経路は蚊媒介です。これまでに京都市内で報告されているデング熱は、全て海外の流行地で感染し、帰国後に発症する輸入症例です。
本疾患は蚊を媒介して感染するもので、人から人には感染しません。また、デング熱は感染しても重症化することはまれです。高熱、関節の痛み、目の奥の痛みなどの症状が1週間から2週間ほど続くため、早めに医療機関を受診してください。屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、できるだけ肌を露出せず、忌避剤を使用するなど、蚊に刺されないよう注意してください。
- ・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が1例(女性, 60歳代)あります。本年の累積報告数は7例となっています。平成26年9月19日に五類感染症(全数把握感染症)に追加されており、平成26年の累積報告数は9例でした。
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が1例(女性, 10歳代)あります。平成25年4月1日に五類感染症(全数把握感染症)に追加されて以降、平成25年の累積報告数は15例、平成26年 40例でした。本年の累積報告数は13例です。5歳未満の小児と60歳以上の高齢者に多く発症しており、ワクチンによる予防が重要となります。

◆ 今週のトピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.27で、京都市の過去5年平均値を5週連続で上回っています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 8例(肺結核 4例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 74例(肺結核 38例, その他結核 24例, 潜在性結核感染者 12例)うち喀痰塗抹陽性 18例】
- ・ 四類: デング熱 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 13例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

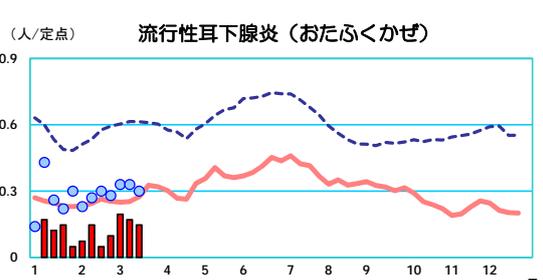
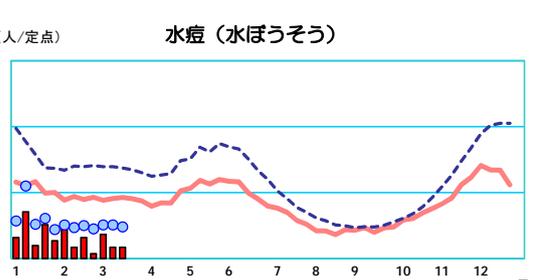
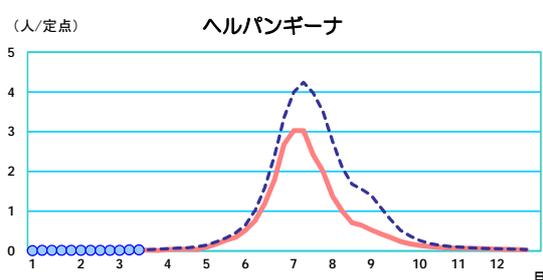
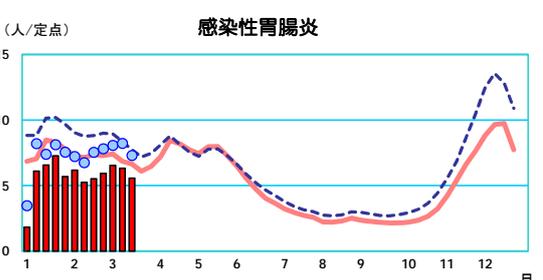
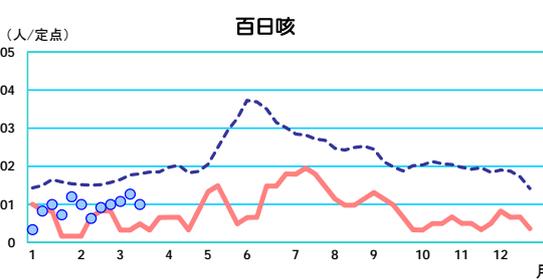
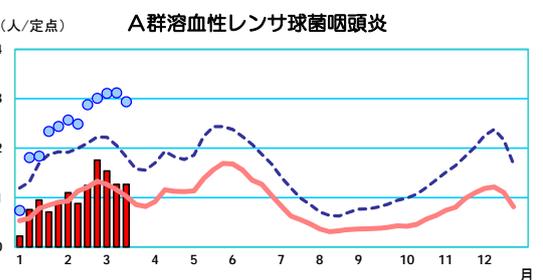
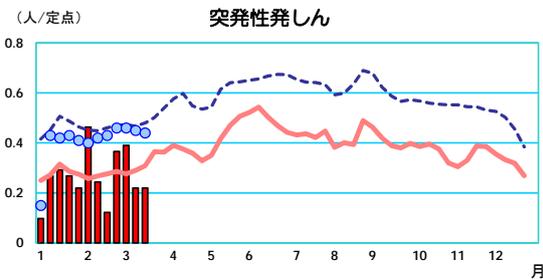
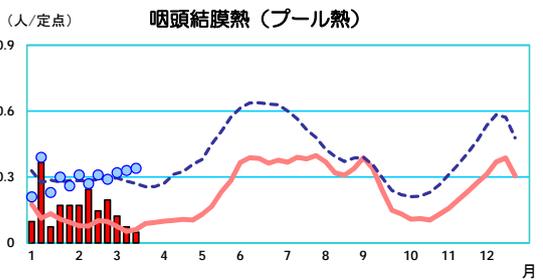
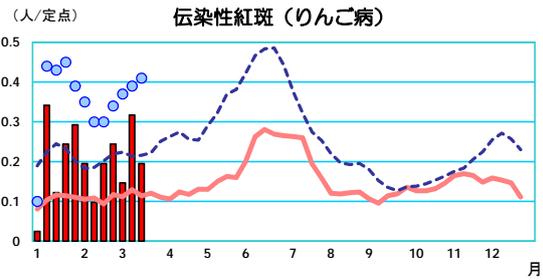
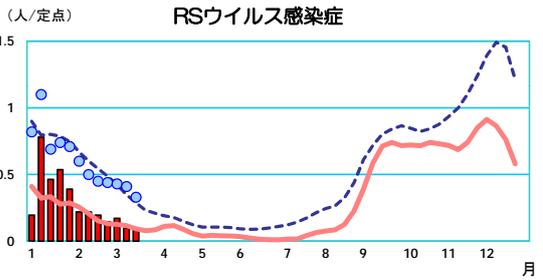
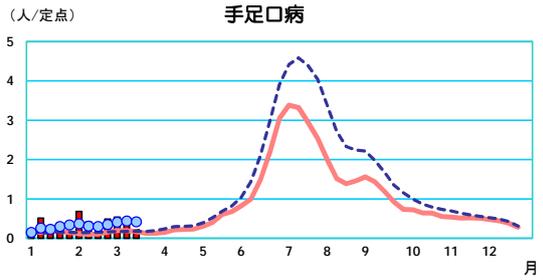
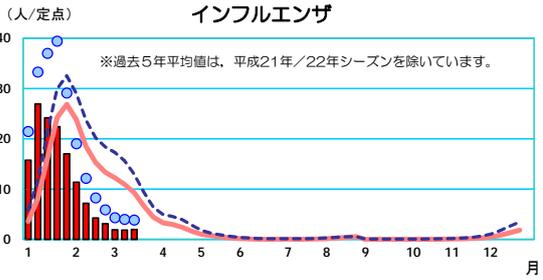
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	1. 99	135
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5. 56	228
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 27	52
	③ 手足口病	0. 22	9
	③ 突発性発しん	0. 22	9
	⑤ 伝染性紅斑	0. 20	8
眼科	流行性角結膜炎	0. 10	1

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成27年3月26日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



第12週(3月16日～3月22日)トピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

京都市及び全国の発生動向

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.27で、京都市の過去5年平均値を5週連続で上回っています。行政区別の定点当たり累積報告数(1～12週)は、多い順に右京区、西京区となっています。

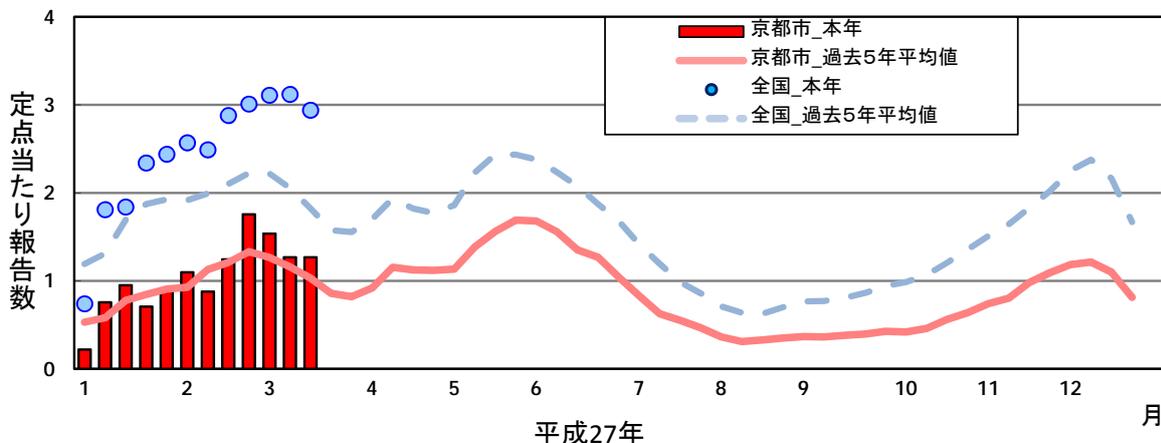
また、全国の定点当たり報告数は2.94で、過去5年平均値を上回る状況が続いています。都道府県別では、直近3週の報告数上位3県は石川県、鳥取県、山形県で変わりなく、今週の報告数は石川県で「7」を超えています。

予防

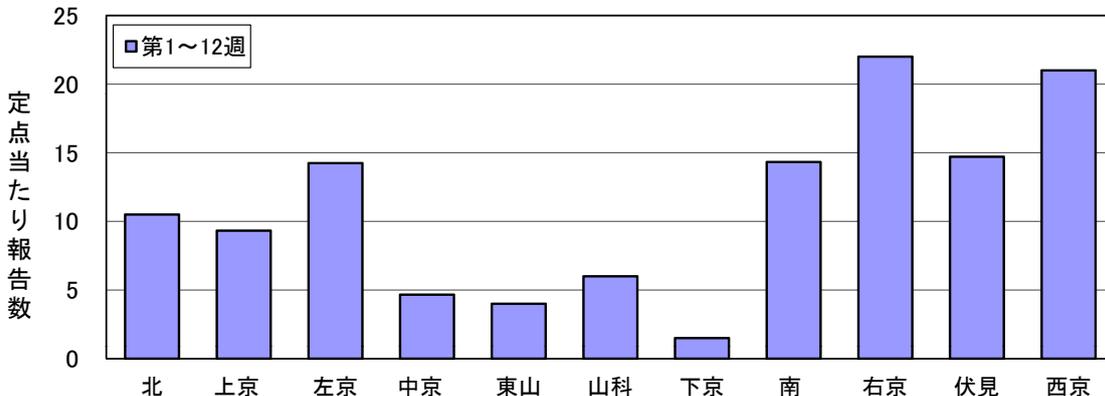
通常、患者との接触を介して伝播するため、人との接触の機会が増加するときに発生しやすく、家庭内や学校、幼稚園など小児の集団生活施設での感染が多くみられます。例年、9歳以下で全報告数の80%前後を占めています。

予防としては、患者との濃厚接触を避けることが最も重要ですが、うがいや手洗いなどの一般的な予防を行うことが大切です。マスクを用いた咳エチケット(周囲への感染予防のためにマスクを着用すること)も効果が期待できます。

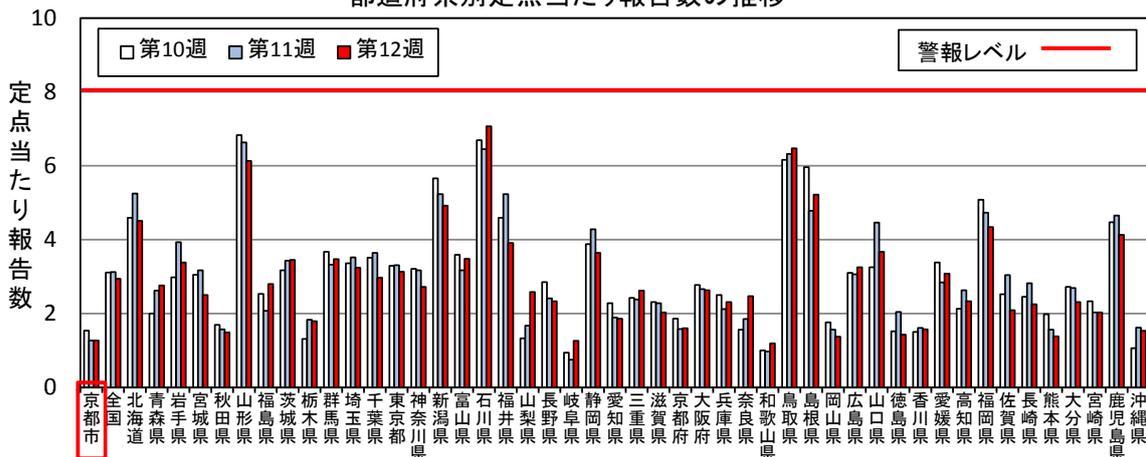
京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



行政区別定点当たり累積報告数(平成27年)



都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第12週

疾病,行政区別報告数

平成27年3月16日～平成27年3月22日

データ入手日:平成27年3月26日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎(※2)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎(※3)	感 染 性 胃 腸 炎(※4)	
男女合計																				
北	22	-	-	10	14	1	-	-	1	-	-	-	-	-						
上京	8	-	-	2	7	-	-	-	1	-	-	-	-	-						
左京	12	2	-	8	31	1	-	-	1	-	-	2	-	-						
中京	14	2	-	1	10	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	9	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	5	-	-	2	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-						
下京	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	7	-	1	-	14	2	2	-	-	-	-	-	-	-						
右京	11	-	1	12	38	-	2	1	2	-	-	1	-	1						
伏見	35	-	-	10	46	2	3	1	2	-	-	2	-	-						
西京	11	-	-	6	31	1	1	5	1	-	-	1	-	-						
京都市計	135	4	2	52	228	7	9	8	9	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-

性,疾病,保健所別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎(※2)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎(※3)	感 染 性 胃 腸 炎(※4)	
男女合計																				
北	3.14	-	-	2.50	3.50	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-						
上京	1.60	-	-	0.67	2.33	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-						
左京	1.71	0.50	-	2.00	7.75	0.25	-	-	0.25	-	-	0.50	-	-						
中京	2.80	0.67	-	0.33	3.33	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	3.00	-	-	-	15.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	0.71	-	-	0.50	1.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-						
下京	0.33	-	-	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	1.40	-	0.33	-	4.67	0.67	0.67	-	-	-	-	-	-	-						
右京	1.38	-	0.20	2.40	7.60	-	0.40	0.20	0.40	-	-	0.20	-	1.00						
伏見	3.18	-	-	1.43	6.57	0.29	0.43	0.14	0.29	-	-	0.29	-	-						
西京	1.57	-	-	1.50	7.75	0.25	0.25	1.25	0.25	-	-	0.25	-	-						
京都市計	1.99	0.10	0.05	1.27	5.56	0.17	0.22	0.20	0.22	-	-	0.15	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第12週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年3月16日～平成27年3月22日

データ入手日:平成27年3月26日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	135	-	-	4	5	7	-	4	15	3	2	7	25	4	6	15	15	9	8	5	1
RSウイルス感染症		4	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		52	-	-	3	4	7	3	12	4	6	2	2	6	-	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		228	2	14	26	16	21	25	24	21	9	7	4	28	4	27	-	-	-	-	-	-
水痘		7	1	1	-	1	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	9	-	-	3	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		8	-	-	1	1	1	1	1	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		9	-	4	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		6	-	-	-	1	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

性,年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1.99	-	-	0.06	0.07	0.10	-	0.06	0.22	0.04	0.03	0.10	0.37	0.06	0.09	0.22	0.22	0.13	0.12	0.07	0.01
RSウイルス感染症		0.10	-	-	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.05	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.27	-	-	0.07	0.10	0.17	0.07	0.29	0.10	0.15	0.05	0.05	0.15	-	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.56	0.05	0.34	0.63	0.39	0.51	0.61	0.59	0.51	0.22	0.17	0.10	0.68	0.10	0.66	-	-	-	-	-	-
水痘		0.17	0.02	0.02	-	0.02	0.05	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.22	-	-	0.07	0.05	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.20	-	-	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.22	-	0.10	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.15	-	-	-	0.02	0.02	0.05	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第12週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年3月26日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	487	290	212	129	126	135
RSウイルス感染症	9	8	6	7	4	4
咽頭結膜熱	10	6	8	5	3	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	51	72	63	52	52
感染性胃腸炎	215	226	243	268	259	228
水痘	7	13	3	15	7	7
手足口病	17	8	20	22	21	9
伝染性紅斑	4	8	10	6	13	8
突発性発しん	10	5	15	16	9	9
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	1	-	-	1	-
流行性耳下腺炎	6	2	4	8	7	6
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	-	1	-	3	1
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	805	618	594	539	505	461

性,週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	7.16	4.26	3.12	1.90	1.85	1.99
RSウイルス感染症	0.22	0.20	0.15	0.17	0.10	0.10
咽頭結膜熱	0.24	0.15	0.20	0.12	0.07	0.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.88	1.24	1.76	1.54	1.27	1.27
感染性胃腸炎	5.24	5.51	5.93	6.54	6.32	5.56
水痘	0.17	0.32	0.07	0.37	0.17	0.17
手足口病	0.41	0.20	0.49	0.54	0.51	0.22
伝染性紅斑	0.10	0.20	0.24	0.15	0.32	0.20
突発性発しん	0.24	0.12	0.37	0.39	0.22	0.22
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.02	0.02	-	-	0.02	-
流行性耳下腺炎	0.15	0.05	0.10	0.20	0.17	0.15
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.30	-	0.10	-	0.30	0.10
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	15.14	12.26	12.51	11.90	11.32	10.01

※1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 オウム病を除く。

※4 病原体がロタウイルスであるものに限る。